

4 キクガシラコウモリ (キクガシラコウモリ科)

Rhinolophus ferrumequinum

兵庫県ランク:要調査

環境省ランク:-

種の概要

日本各地に生息している。主に洞穴性で自然洞窟のほか廃坑や防空壕などをねぐらとするが人家を利用する例も知られている。17g~35gで200頭ほどの出産保育コロニーを形成することなどが知られている。顔には大きく特徴的な鼻葉がある。



県内における生息状況及びその他特記事項

県内では、最も生息情報の多い種であり、全県域で生息確認されている。廃坑や洞窟で比較的大きなコロニーも確認されている。

写真提供: 庄子 恭平

保護上の留意点

大きな繁殖コロニーが確認されているが、利用している廃坑や旧防空壕などが、今後崩壊する危険性もあり、状況を把握する必要がある。

県内分布

神戸市、西宮市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町、西脇市、小野市、多可町、宍粟市、たつの市、神河町、佐用町、豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町、篠山市、丹波市、南あわじ市

【執筆者】横山 真弓

主要な選定理由

人為性	激減	
	環境	△
	捕獲	
特殊性	遺伝	
	特殊	
学術性	孤立	
	極限	
	限界	
	希少	

